

# グラーデ仕上げ 施工の手引き

適用品番

ジョリパットインフィニティー JQ-500シリーズ

【初版】平成24年 4月

アイカ工業株式会社  
化成品カンパニー

< 使用材料 >

材料	商品名	概要	荷姿	標準施工面積
シーラー	ジョリパットシーラー JS-410	1液溶剤系 アクリルゴム系シーラー	15kg/缶	約75~100 m <sup>2</sup>
	セーフシーラー JS-800	1液水系珪酸シーラー	16kg/缶	約80~106 m <sup>2</sup>
主材	ジョリパットインフィニティー シリーズ 標準色 JQ-500T ( ...数字 ) 特注色 JQ-500 ( ...英字、 ...数字 )	アクリル共重合樹脂 水性仕上げ塗材	20kg/ 缶	約7 m <sup>2</sup>
骨材	JF-3 JF-5	寒水石(白竜) 3 厘 寒水石(白竜) 5 厘	20kg/袋入り 20kg/袋入り	約15 m <sup>2</sup> 約45 m <sup>2</sup>

セーフシーラー JS-800 は2kg×2個セットもございます。使用する面積によってはこちらをご使用いただくことを推奨致します。(施工面積目安：約20~25 m<sup>2</sup>/セット)

使用する下地に適合したシーラーをご使用下さい。詳しくは各シーラーの説明書または最寄のアイカ工業(株)各支店にお問い合わせ下さい。

< 主な施工道具 >

- ・リシンガン 口径 6 mm
- ・タイルガン 口径 8 mm
- ・グラード専用プラ熊手 (JR-78)
- ・コンプレッサー 2.2 kW 又は3馬力以上 (1台使用の場合)
- ・灯油

< 下地調整 >

モルタル金ゴテ押さえ (平滑) など

< グラード仕上げ施工方法 >

1. シーラー塗布

・JS-410の場合

配 合	J S - 4 1 0	1 5 k g
塗 布 量	0 . 1 5 ~ 0 . 2 k g / m <sup>2</sup>	
施工方法	ローラー刷毛又はスプレーガン	

・JS-800の場合

配 合	J S - 8 0 0	1 6 k g
塗 布 量	0 . 1 5 ~ 0 . 2 k g / m <sup>2</sup>	
施工方法	ローラー刷毛又はスプレーガン	

下地、主材に応じた最適なシーラーを選定して下さい。  
3時間以上48時間以内

2. 主材 下吹き

配 合	J Q - 5 0 0 シ-ズ	2 0 k g
	清 水	2 ~ 3 割
塗 布 量	0 . 9 k g / m <sup>2</sup>	
吹 圧 力	5 ~ 7 k g f / cm <sup>2</sup> (0.51 ~ 0.71MPa)	
施工道具	リシンガン 口径 4 ~ 6 mm	

夏期 4時間以上  
冬期 12時間以上  
完全に乾燥したことを確認後、次工程に移って  
下さい。

3. 主材 上吹き

配 合	J Q - 5 0 0 シ-ズ	2 0 k g
	寒水石 3厘	1 5 k g
	寒水石 5厘	5 k g
	清 水	1 ~ 2 割
塗 布 量	約 3 . 5 k g / m <sup>2</sup>	
吹 圧 力	4 ~ 6 k g f / cm <sup>2</sup> (0.41 ~ 0.61MPa)	
施工道具	タイルガン 口径 8 mm	

追いかけて

4. パターン付け

・灯油を浸したグラード専用ポリ熊手JR-78を横方向に動かし、クシ引き模様をジョイント部分がランダム(図-1)になるよう押さえてください。

< 施工のポイント >

- ・ジョイント部分が目立たないように、千鳥状に模様を付けてください。(図 - 1)
- ・プラ熊手は爪のR部分を壁面に付けるよう(熊手の甲側を壁面に向ける)にして柄を持ち、進行方向に寝かせて(柄を壁面に近づけて)使用してください。(図 - 2)
- ・プラ熊手をこまめに灯油に浸し、常にきれいに保つようウエスなどで余分な材料を除去しながら施工を行ってください。プラ熊手に材料が付着したまま、パターン付けを続けると、パターンが汚くなります。

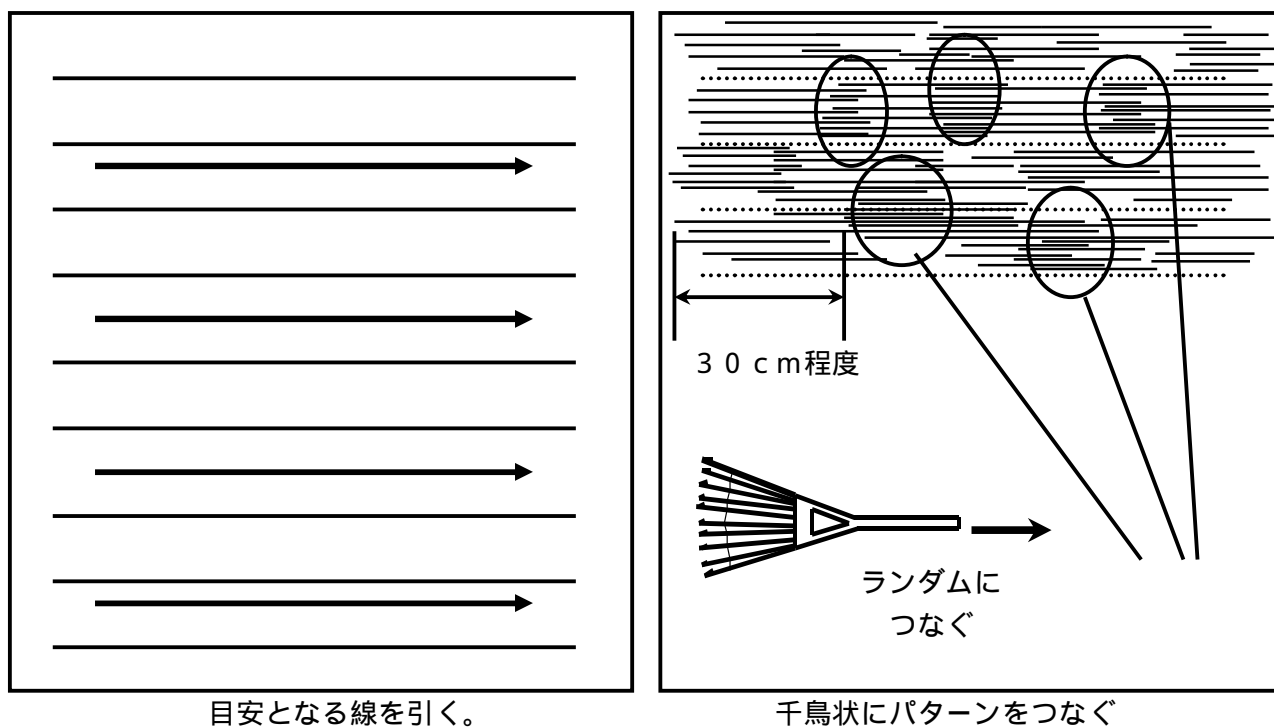


図 - 1

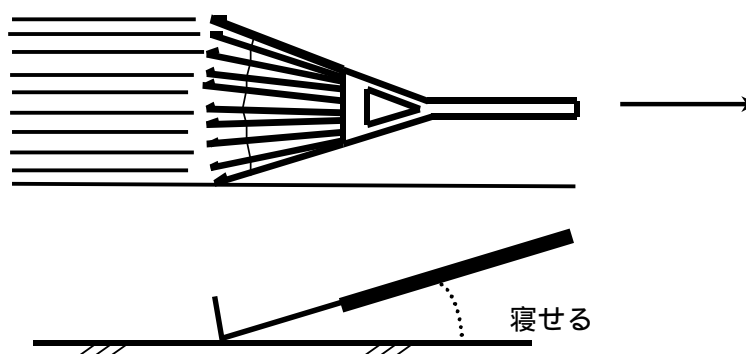


図 - 2

< 施工の注意事項 >

- ・配合は遵守して下さい。  
寒水石の量を増やすと伸び物性が低下し、水希釈量が多いと吹きムラ、ダレ等が発生することがあります。
- ・表面乾燥が比較的速いため、塗り継ぎ時間に注意して下さい。  
(大面積では作業人工や化粧目地による分割を検討して下さい。)
- ・同一面は連続して施工して下さい。  
(気温・湿度・風等により、色調が異なることがあります。)
- ・パターンを付ける際、ラインが蛇行したり斜めに下がったりしないよう注意して下さい。
- ・プラ熊手で何度も同じ場所を触ると、材料の塊(クズ)が発生し、仕上がりが悪くなります。  
壁面に残らないよう、プラ熊手に付着した材料は、ウエスなどでかき取り、きれいにして下さい。
- ・施工前に必ずコンパネ等で試し吹きを行い、仕上がり、乾燥性を確認して下さい。
- ・塗板見本及び現場施工時のパターンの状態を、施主等の責任者の承認をいただいた上で施工を進めてください。
- ・寒水石のかわりに珪砂、ミックスサンドなどを使用しますと、仕上がり時の色が見本板と変わります。アイカ指定の寒水石以外の使用は避けていただきますようお願い致します。
- ・気温5 以下、湿度80%以上、降雨、結露、強風などの条件下での施工は、硬化不良、ひび割れ、ふくれなどの不具合が発生する可能性があります。
- ・シーラー、ジョリパット施工の際は臭気トラブルを防ぐ為、事前に近隣への案内等にご配慮ください。
- ・シーラー、溶剤、洗浄剤(灯油など)で有機溶剤が含まれる場合は特に、防毒マスクを着用してください。また、必要に応じて保護眼鏡や保護手袋を着用してください。
- ・施工器具(コテ、ローラー、吹き付けガン)などの洗浄水の、河川や側溝への廃棄は避けてください。
- ・商品ならびに施工に関するお問い合わせは最寄の当社支店までお願い致します。

以 上